

家庭・学校・地域の連携で、
子どもの外遊び環境整備をするPTA活動（いぶきの会と共に）

（豊北）神田小学校 PTA

1 学校地域の概要

山口県西部に位置し、校区は海岸沿いに細長く伸びており、学校はその中間にあります。校区内の戸数は約700世帯ですが、そのうち小学校児童の家庭数はわずか29戸で年々減少しています。

本校は、運動場を隔てて海が広がっており、磯と砂浜での学習はもちろん、休み時間も海辺で遊ぶ子どもたちの姿が見られ、海に親しむ絶好の環境にあります。また、校舎の裏や周辺は林が広がり四季折々の変化に気づきながら過ごすことができます。児童は、恵まれた自然環境の中でのびのびと活動し、素直で明るい子どもたちです。



地域の方や保護者は、登下校の安全や総合的な学習の時間への支援等、積極的に関わり協力的です。

2 PTA 組織図

執行部	会長	専門部	教養部		部長	副部長
	副会長		保体部		部長	副部長
	監査		施設生活部		部長	副部長
		学年部	1年	理事	副理事	
			2年	理事	副理事	
			3年	理事	副理事	
			4年	理事	副理事	
			5年	理事	副理事	
			6年	理事	副理事	

3 研究主題

家庭・学校・地域の連携で、
子どもの外遊び環境整備をするPTA活動（いぶきの会と共に）

4 活動内容

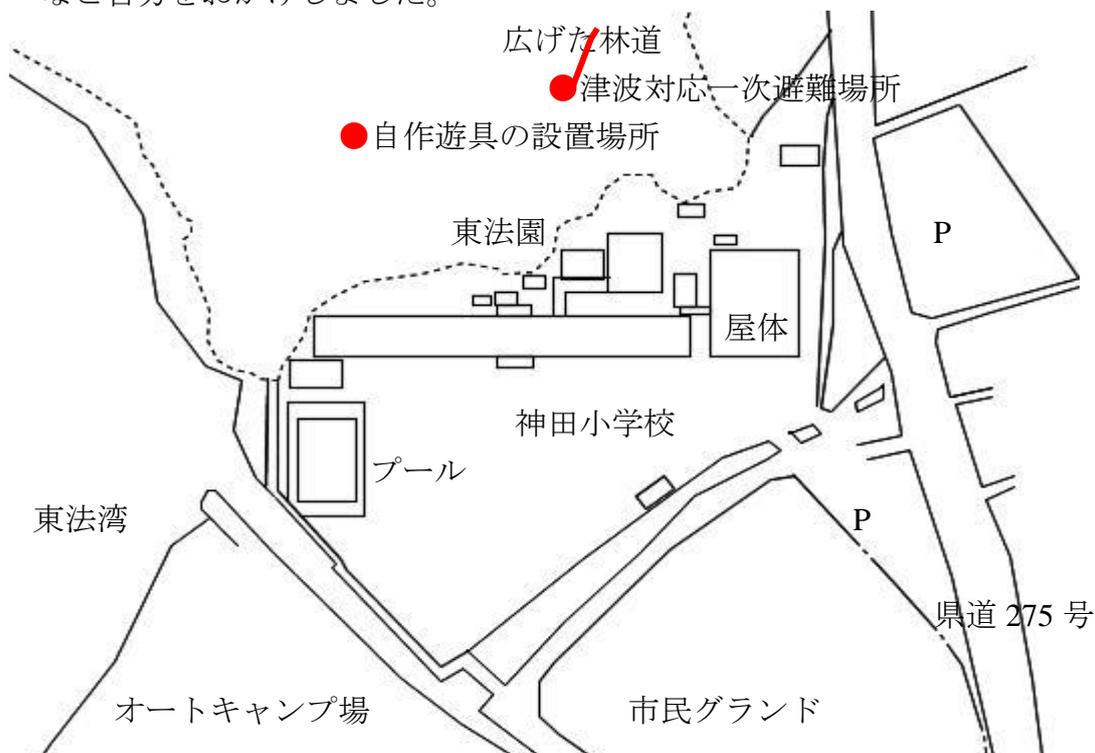
（1）学校応援団「いぶきの会」

いぶきの会は、東法園(学校林)整備や校庭の樹木剪定のために地域の方やPTAが集い学校の教育環境整備をする学校応援団です。來見田仁様を会長として、地域の方々やPTAの樹木に関するボランティア団体で、「緑の募金による学校林等活動促進事業」をきっかけとして発足しました。

今年度第1回の「いぶきの会」は、10月27日土曜日に開催したところ、地域の方・農林事務所・PTAから18名の参加者がありました。

東法園に車が上がらないので、先立つ10月14日に附野（つくの）自治会長の則常様に、パワーショベルで林道から東法園まで33mの道を作っていただきました。お陰で、四輪駆動の軽トラックで東法園（海拔約20m）に行くことができるようになりました。林道の土地は学校の敷地でないため、地主の方にお問い合わせしたところ、学校のためならと快く了解をいただくことができました。地域に支えられている学校であるとの思いが強くなりました。

今回の「いぶきの会」では、広げた林道を邪魔する木を切ること、東法園の草刈りを中心に作業することとしました。特に大きな木を切り倒すのに大変なご苦勞をおかけしました。





(広げた林道)



(不要な木の伐採)

(遊びやすくするための草刈り)



(手作り遊具・ブランコ)

作業が順調に進んだので、ブランコやターザン用のロープを木に付けてもらいました。ロープを編むことのできる方が2名いらしたので、丈夫できれいな仕上がりとなりました。子どもの外遊び環境がまた一つ整備されました。





子どもたちは、さっそくブランコやターザンの手作り遊具で遊んでいます。

昼休みにも大人が付いていけば、東法園や東法湾に行ってよいことになっています。

子どもたちは、昼休みになると「先生、今日山(海)に行けますか?」と言ってきますので、職員は可能な限り一緒に遊んでいます。土日にも親子で遊びに来ているようで、保護者から感謝の声が寄せられました。

(2) 東法湾を下関で1番きれいな海にしよう

6月10日の日曜参観日は、大人は「東法園」作業、児童は浜の清掃でした。

児童の浜清掃では、最初にエコリーダースクール宣言をしました。

- 東法湾の海の自然を守り育てます。
- さわやかな神田の自然を大切にします。
- 「もったいない」を合言葉にゴミをへらします。

環境委員会が本日の目的「東法湾を下関で1番きれいな海にしよう」やゴミの分別方法、危険なゴミの説明をした後、たてわり班毎に分かれて清掃活動をしました。



環境委員が、たてわり班別に全校児童の名前が書いてあるがんばり表を作り、どの班がたくさんのごみを集めることができるか記録しました。浜辺からごみ収集の場所までは、岩場を越えて階段を登り降りして大変苦勞して運んでいましたが、みんな一生懸命に取り組むことができました。低学年も美化美化（ぴかぴか）大賞の袋にたくさんのごみを詰めて、うれしそうにごみを持ってくる姿がとても印象的でした。高学年は、大きなごみ袋に重たいごみを入れ、息を切らして必死に運びました。4月の爆弾低気圧で膨大なごみや海藻が流れ着いていた浜辺は、1時間でとても美しくなりました。子どもたちは、自分たちの力できれいになった海をもっと好きになったと思います。清掃をした東法湾は、特別に思い入れのあるところです。伝統のある清掃活動は、平成5年度の環境教育研究指定校、平成19年度からのやまぐちエコリーダースクールの認定につながっています。

浜掃除をした東法湾は、海の終業式、化石とり、ところてん作りのテングサ採り、海の仕事磯見の学習、浜辺のお弁当、磯遊び、遠泳大会、稚魚の放流体験、クラブでの魚釣り、昼休みの遊び場で活用しています。



(全校児童による東法園清掃)

一方、保護者は東法園（学校林）の整備を行いました。津波を伴う地震の場合の第1避難場所である東法園の避難場所整備を重点的に行いました。この活動は、第1避難場所を保護者が知る意味もあります。

順調に作業が進んだので、花いっぱい運動や、学校農園で使う腐葉土採集を行いました。ほとんどの保護者が参加する奉仕作業なので4立方メートルもの腐葉土が集まり、置き場にいっぱいになりました。



(腐葉土置き場が満杯)

うれしい副産物もありました。11月に行った冬の花壇作りで、その腐葉土を使おうとしたら、たくさんのカブトムシの幼虫が出てきました。夏の間にかブトムシが飛んできて卵を産んだようです。希望する児童がその一部を、家庭に持ち帰り育てています。

来年の夏は、腐葉土置き場からたくさんのカブトムシが出てくるのを、昆虫好きの子どもは、わくわくして待っています。

(3) わたしの木

神田小学校には、神田の自然条件に合った木、鳥が運んできた木、緑化や卒業記念、地域からの寄付など人工的に植えられた木など、様々な由来の木があります。海辺に適した樹木、強い海風から花壇を守る防風のための樹木、鳥の食べ物になる実を付ける樹木、木陰を作るための樹木など先人の工夫が読み取れます。

40年前の昭和47年の創立百周年記念行事の一環で設置された樹木名木板はほとんど読み取れない状況になっていました。子どもたちが自然環境に興味をもつ第一歩として、木々に愛着をもつために名木板を設置する「わたしの木」活動を行いました。

名木板設置を、設置作業とするのではなくネーチャーゲームの手法を取り入れ「わたしの木」と銘打ち、昼休みの体験活動としました。

ランチルームで「学校林整備活動」の紹介をして、くじ引きで「わたしの木」を決め、全校児童に樹木名木板を取り付けてもらいました。この取り組みをしたのは、樹木を通じて自然に愛着をもってもらいたいからです。さらに、卒業してからも、大人になってからも「わたしの木・わたしの学校」と思って、大切にしてもらいたい願いからです。



(天気のよい昼休みに数名の児童と設置)

今年度は、その2年次に当たります。入学してきた1年生にもくじを引いてもらい、名木板を設置してもらいました。

自分の木が決まった1年生は、
 「お世話をする木に、水をやったらいいの」
 「これがお姉ちゃんの木よ」
 など、樹木に対してこれまでになく愛着をもっています。全児童が、自分の木はどこにあり、何という木か知っています。



(名木板の表には樹木名、裏には科名、
 下には取り付けた人の名前を記入)

樹木名は正確を期するために、山口県下関農林事務所森林部の方の協力を得ました。また、神田の自然条件に合っている今後の「わたしの木」活動が継続できるよう樹木の同定をしていただきました。

【資料1】 樹木名取り付け樹木

平成24年10月31日(水)現在

番号	持ち主	科	樹木名	備考
1	まさと	グミ科	ツルグミ	熟すると赤橙色で美味
2	みさき	バラ科	シャリンバイ	大島紬の染料
3	めぐみ	ニシキギ科	マサキ	橙赤色の実(1月)
4	しゅんだい	ブナ科	マテバシイ	長い椎の実で食べられる
5	らむ	バラ科	ソメイヨシノ	人気種
6	さちこ	ツバキ科	ヤブツバキ	椿油は、高級食用油、整髪料
7	りく	ツゲ科	タマツゲ	イヌツゲの園芸品種
8	しずか	マメ科	デイゴ	沖縄県(別名:エリスリナ)
9	りゅうのすけ	スギ科	ヒマラヤスギ	世界三大造園木の1つ
10	るい	バラ科	ボケ	実は果実酒の材料
11	ひかる	ユズリハ科	ユズリハ	雌雄異株
12	なみ	マキノキ科	イヌマキ	種子の基部は甘く食べられる
13	Yさくら	モチノキ科	クロガネモチ	雌雄異株で、花は淡紫色
14	なおみ	ヤシ科	シュロ	縄や敷物、ホウキなどの材料
15	かずき	ヒノキ科	カイヅカイブキ	潮風や排気ガスに強い
16	しょうた	ソテツ科	ソテツ	種子は有毒 救飢食

17	えいじ	アオイ科	ハマボウ	半マングローブ植物
18	なつみ	スイカズラ科	サンゴジュ	果実が秋に赤く熟し美しい
19	ゆうた	ヤシ科	ヤシ	温暖な地方の街路樹
20	りゅうせい	トウモロコシ科	キョウチクトウ	経口毒性あり
21	ひめか	ユズリハ科	ヒメユズリハ	雌雄異株で花期は5月頃
22	だいき	マツ科	クロマツ	汚染と塩害に強い
23	こうだい	ズカケ科	プラタナス	(別名：ズカケノキ)
24	るな	マキ科	ラカンマキ	中国原産で、イヌより小型
25		イチヨウ科	イチヨウ	中国原産の落葉高木
26	なも	クスノキ科	クスノキ	枝葉は樟脳の原料
27	ゆう	モクセイ科	ヒゲモクセイ	(別名：ギンモクセイ)
28	みずき	アオイ科	ムクゲ	茶事の生け花
29	ことか	スイカズラ科	アベリア	花の香りが非常に強い (別名：ハツバ 衾)
30	けん	イチイ科	キャラボク	イチイの変種 雌雄異株
31	OSはやと	カエデ科	イロハモミジ	紅葉の代表種
32	Nさくら	ツツジ科	ヒラドツツジ	葉が大きい
33	もとたか	スイカズラ科	ハコネウツギ	初め白色でのちに紅色
34	まなせ	バラ科	ウメ (白梅)	果実は梅干しとして利用
35	かいと	ヤマモモ科	ヤマモモ	雌雄異株 果実は甘酸っぱい
36	こうだい	ツツジ科	ブルーベリー	ラビットアイ系 H24植樹
37	みさき	ミズキ科	アオキ	葉は苦味健胃作用
38	りんか	ウコギ科	ヤツデ	花は晩秋に咲く 蛆用の殺虫剤
39	しほ	カキノキ科	カキノキ	渋柿
40		ミカン科	ハッサク	生食用
41		ツバキ科	サザンカ	寒い時期に、花が咲く
42	すみれ	バラ科	ピラカンサ	タチバナモドキ
43	しほ	ブナ科	クリ	縄文時代人の主食
44	そうすけ	ブナ科	シイ	小さい椎の実で食べられる
45	OBはやと	ウコギ科	カクレミノ	樹液中ウルシオールを含む
46	らいと	フトモモ科	ユーカリ	精油は殺菌作用
47	しんたろう	クスノキ科	アオモジ	薄い黄色の花
48	りょうが	ミカン科	キンカン	丸実金柑H24植樹
49	じゅんいち	ザクロ科	ザクロ	果実は食用
50	まなみ	ハイノキ科	クロキ	秋ごろに黒い果実が実る

5 1		ブナ科	アラカシ	いわゆるドングリ
5 2		ツバキ科	ヤブツバキ	ツバキ油が採取される
5 3		クワ科	イヌビワ	食べられるが、不味
5 4		クスノキ科	ヤブニッケイ	根皮などに香りがある
5 5		ブナ科	コナラ	シイタケの原木
5 6		ツバキ科	ハマヒサカキ	潮風や乾燥に強い
5 7		トベラ科	トベラ	5月頃芳香のある白い花
5 8		クスノキ科	ハマビワ	10～11月に淡黄色の花
5 9		マンサク科	イスノキ	木刀・杖などの材料
6 0		ヒノキ科	ネズミサシ	球果は漢方の生薬
6 1		マメ科	カイコウズ	鹿児島県の県木

調 査 者：山口県下関農林事務所森林部（佐渡・田坂）



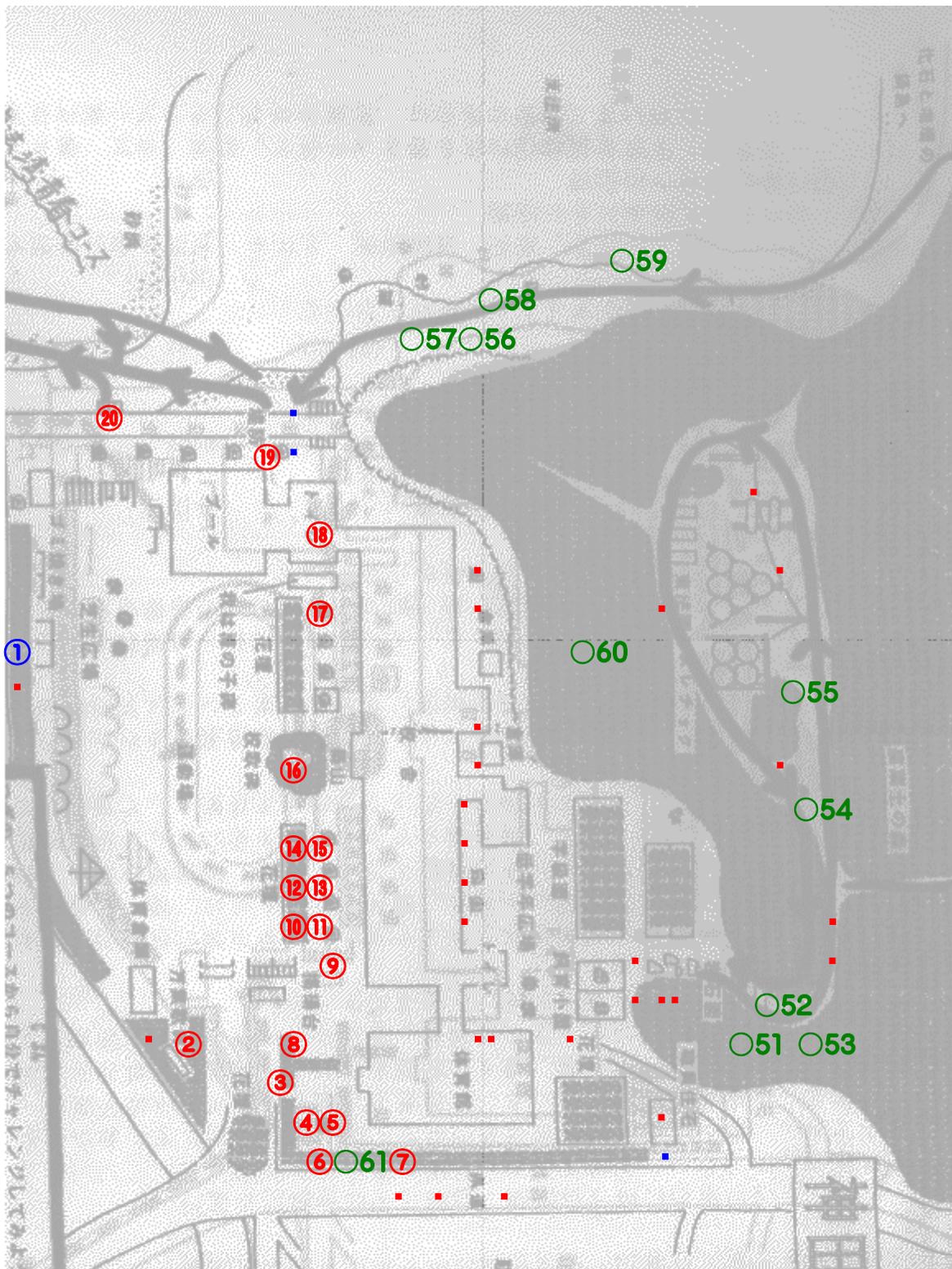
（樹木名、同定風景）



（いぶきの剪定、東法園整備作業）

【資料 2】 樹木名木板設置場所

住 所：下関市豊北町神田 2 5 1 9 - 1
場 所：神田小学校校庭・東法園（学校林）



5 成果と課題

(1) 成果

- ・東法園を整備することで、理科・生活科で活用するようになり、採集や観察が自然の中で行えるようになりました。また、昼休みや休日にも山で遊ぶ子どもの姿がもどってきました。
- ・ツルグミの実はいつできるか、クリのいがの取り方はどうするのか、ユズリハは注連飾りに使える、アベリアの花は香りがいいなど、名前を覚えることから始まった樹木に対する興味関心が深まってきました。
- ・海の清掃、海での活動、東法園での遊びや森林体験など、神田の自然や地域の方との活動で、神田のよさが体験でき愛校心や感謝の心が育ってきました。
- ・学校応援団いぶきの会ができたことで、学校が生涯学習の場、地域貢献の場となることができました。いぶきの会をきっかけに、気軽に来校される方が増えてきました。

(2) 課題

- ・東法園に上がるだけで運動になりますが、現在運動場だけで走っている「すくすく走」を、坂道や芝生の中を走る活動を取り入れ、定期的計画的体力作りをしていく必要を感じています。
- ・来年度は1学級減で4学級、再来年度は完全複式となる予定です。さらに進む小規模校化への対応として、保護者や地域の方の協力無くしてすばらしい教育環境は維持できません。コミュニティ・スクール運営協議会の協力を得て、地域と学校がお互いにメリットのある関係作りをしていきたいと思えます。

